



～手をつなぎ 心ゆたかで たくましい子

きいひが通信



手をつなぎ 心ゆたかに たくましい子

こうちょう くまの みほ
校長 熊野 美穂

一年間、「全校のお手本となる！！」ことを目指して、みんなで確認し合って、みんなでレベルアップし続けた6年生65名が、本日(3月19日)桐原東小学校を巣立ちます。6年生の、卒業式に向けての真剣な取組は、とても素晴らしかったと思います。また、卒業を祝う週間や6年生を送る会に向けて、学年ごとに取り組んだ在校生の活動も、どれも素晴らしいものでした。全校児童の集団力(手をつなぎ)、取組姿勢(心ゆたかに)、活動態度(たくましい子)を誇りに思います。

4月、不安いっぱいの新入生の手をひき、優しく話しかけながら集団登校する6年生の姿に、たのしみを感じ、今年度が始まりました。安心、安全な学習環境でお互いを高めあってほしいとの思いから、子どもたちには、機会あるたびに「自分とみんなの心と体を大切にしてほしい」と語り続けてきました。一学期は、ひとつ学年があがり、新しい仲間と担任の先生たちとの新たな関係づくりに取り組みました。二学期は、運動会や音楽会、校外学習など、集団活動を通して自分とみんなの心と体を大切にすることを体感しました。それらが積み上げられて、今の姿があるのだと思います。6年生が「全校のお手本」となり、どんなことにも一生懸命取り組む姿がかっこいいことを見せてくれたので、今の姿があるのだと思います。6年生の子どもたちが「全校のお手本」であり続けることは、決して簡単ではなかったと思います。一人では出来なくても、「みんなで確認し合って、みんなでレベルアップしよう」と支えあったからこそ成果かと思えます。

改めまして、桐原東小学校の学校教育目標は「手をつなぎ 心ゆたかに たくましい子」です。みんなで(手をつなぎ)、自分とみんなの心を大切にしてお互いの感謝(心ゆたかに)、自分とみんなの体を大切にしてお互いの体験(たくましい子)を積み上げていくことが、子どもたち一人一人の成長につながるのかと思います。6年生は、本校の卒業生を手本として、今年一年、「全校のお手本」となるべく、さまざまな活動に取り組みました。5年生以下の子どもたちも、今年度の6年生やこれまでの卒業生を手本として、今後、さまざまな活動に取り組んでいくのだと思います。それが、桐原東小学校の伝統と、校風をつくることなのかなと思います。

今年度、本校児童のさまざまな活動を支援してくださった保護者、地域のみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

